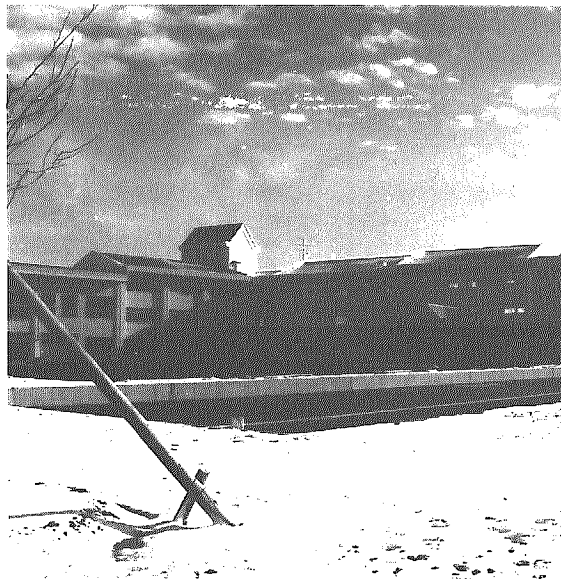
待望の新校舎が完成

三学期からは、新校舎で授業開始

平成三年八月の和納小学校の建設に引き続き、平成五年七月から二か年継続事業で進められてきた岩室小学校の改築工事がこのほど完成し、あとは三学期から児童が元気に登校してくるのを待つばかりとなりました。



新校舎は、鉄筋コンクリート造り三階建て（一部鉄骨造り）で、延べ面積は四、三三六㎡（一階一、六四七㎡、二階一、三二〇㎡、三階一、三二〇㎡）。

一階には音楽室や保健室、特殊教室、家庭科室、職員室、校長室、会議室、食堂などが設置され、また二階には普通教室が六室と視聴覚教室、図書室、作法室、資料室、それに多目的スペース、三階には普通教室六室、図工室、準備室、理科室、児童会室が設置されます。

また、新しい体育館も併設され、一階及び二階で校舎棟とつながります。新しい体育館は、今までの体育館と比べて天井も高く、ミニバスケットやバドミントンなども思う存分楽しめます。

なお、今後現在の校舎は取り壊され、その跡地にグラウンド、野球場、駐車場が建設される予定です。

〝観光いわむろ〟の新しい目玉！

――夏井のハザ木並木に「展望施設」――

夏井地区に残る約八百本のハザ木群は、弥彦山をバッグに、四季の移ろいごとに私たちに素晴らしい景観をみせてくれます。

村では、昭和六十二年に所有者と補償契約を結び、補植や枝打ちなどの保存活動を行うとともに、平成元年八月には説明板を設置するなど、周辺の景観整備を行ってきました。

今回建設された展望施設は、地元と土地改良区、行政が協力して実現したもので、周りの景観を損なわないようにとの配慮から、既存の揚水機施設をすっぽりと収納する形で建設されています。

事業費は、二千五百四十万二千円。木造平屋建てで展望スペースは七十五平方㍍、公衆トイレや車十台とマイクロバス二台分の駐車場も設けられています。

観光商工課では、「日本海の夕日と夏井のハザ木の夕日二景は、海・山・平野の歳時記として、また、他にない特徴的な観光資源として、〝観光いわむろ〟のイメージアップに一役かってくれそう」と期待を寄せています。

村では、ハザ木の残る一帯を、今後「やすらぎの田園自然空間地区」として整備していきたいと考えています。

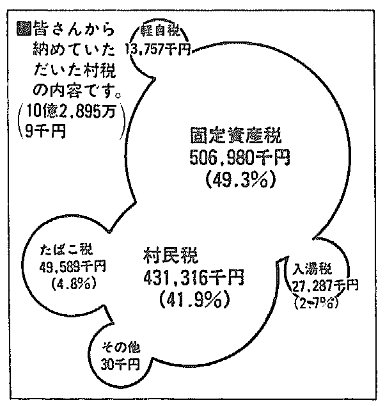
岩室村財政状況

わが村の家計簿です

平成5年度は、このように使いました。

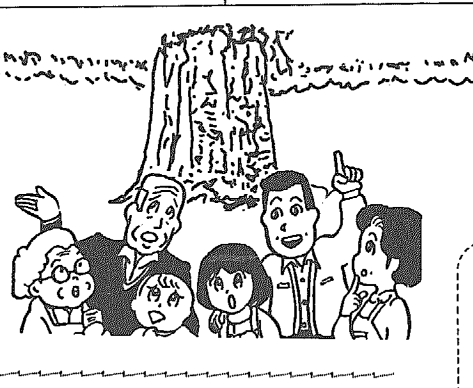
岩室村では、村民の皆さんから納めていただいた税金や国・県から交付される収入で、活力にみちた住みよい村づくりに努めています。

そこで、このコーナーでは平成５年度の決算が、昨年の12月定例村議会で審議され、認定されましたのでお知らせします。なお、決算などというと数字ばかりで読みにくいかもしれませんが、これは皆さんの暮らしに直接かかわる村の家計簿の総集計ですので、ぜひご覧ください。



■一般会計■

その他 2億3,900万円(6.4%)	その他 2億3,597万円(6.0%)
商工費 1億9,046万円(5.1%)	諸収入 1億732万円(2.7%)
土木費 2億420万円(5.4%)	分担金負担金 1億1,636万円(3.0%)
公債費 2億979万円(5.6%)	繰越金 1億4,335万円(3.6%)
衛生費 2億1,160万円(5.6%)	村債 2億1,520万円(5.5%)
総務費 3億600万円(8.1%)	国庫支出金 2億2,648万円(5.8%)
諸支出金 4億3,373万円(11.5%)	繰入金 2億4,593万円(6.3%)
農林水産業費 4億9,872万円(13.2%)	県支出金 2億8,963万円(7.4%)
民生費 5億9,044万円(15.7%)	村税 10億2,896万円(26.2%)
教育費 8億8,184万円(23.4%)	地方交付税 13億1,707万円(33.5%)
歳出合計 37億6,578万円(100.0%)	歳入合計 39億2,627万円(100.0%)



平成5年度の当初予算は、二十九億八千二百万円でスタートしましたが、その後、いろいろな行政需要に応えるため補正され、最終の決算では、歳入が三十九億二千六百二十七万円、歳出が三十七億六千五百七十八万円となり、差引き一億六千四十九万円の黒字となり、平成五年度も健全な財政運営を進めることができました。

歳入では、前年度に比べると六億五千九百八十一万円の増となりました。これを財源別にみてみると、自主財源（四三・四％）では、前年より〇・三ポイント上回り、金額にして約二億九千三百八十万円となりました。この主な要因としては、目的基金の取り崩しによる増と村税収入の増があげられます。また、地方交付税などの依存財源では、前年より〇・三ポイント下回りましたが、金額では約三億六千六百万円の増額となり、総計でも前年度より増収となりました。

歳出面では、歳出総額が三十七億六千五百七十八万円となり、前年度に比べ、六億四千二百六十七万円の増となりました。これは、岩室小学校改築事業のスタートによる教育費の大幅増が大きな要因で、その他にも継続ハード、ソフト事業などにも、村民の皆さんが必要とされている分野に積極的に取り組んだ結果、ほとんどの分野で増となりました。

こうして平成五年度も、厳しい財政状況の中、安定した財政運営のため歳入の確保に努めながら限られた財源の有効活用、経営的経費の抑制などに努めた成果の表われですが、それになんといっても、村民の皆さま方のご理解とご協力があったからの結果です。

■特別会計

国民健康保険特別会計

- ●収入済額 581,311千円
- ●支出済額 470,506千円

老人保健特別会計

- ●収入済額 798,962千円
- ●支出済額 735,925千円

温泉集中加熱事業

- ●収入済額 67,156千円
- ●支出済額 61,632千円

水道事業会計

- ●収益的収入及び支出
  - 収入済額 277,026千円
  - 支出済額 261,404千円
- ●資本的収入及び支出
  - 収入済額 299,303千円
  - 支出済額 417,449千円